

平成27年度第1回図書館協議会（議事録要旨）

日時 平成27年7月7日(火)

午後2時～

場所 豊明市立図書館会議室

出席：近藤、橋本、長山、田中、宮坂、村上、小柳津委員、事務局

議題

(1) 平成26年度事業報告について

資料1「平成26年度実績報告書」に基づき、説明。

(2) 平成27年度事業計画について

資料2「平成27年度図書館事業計画」に基づき、説明。

質疑・応答

議題(1) 平成26年度事業報告について(資料1)

委員：「世界の絵本を楽しもう！」の開催にあたり、図書館には中国や韓国の本が少なく、知り合いから借りて集めたと聞いている。中国や韓国の方が多い中で、外国語の本が偏っているのではないか。

事務局：やはり、ほとんど英語で、次にポルトガル語で中国語は少ないです。80%は英語で、中国語は2～3%だと思います。

委員：近隣の図書館にもなかったです。

委員長：入手しにくいとかはありますか。

事務局：一般書に比べて絵本は入手しにくいのか、冊数が少ないのかもしれない。

委員：小さいときから英語の絵本を見せたいという方はたくさんいらっしゃると思いますが、今、圧倒的に英語圏の方より中国、ブラジルが多くて、ベトナムも増えている。仕事で日本に来て子供を産んでいる方も増えている。母国語の本があると子どもが両方の言葉を話せるようになる。いろいろな国の絵本があると若いお母さんたちに興味を持ってもらえるのではないか。

委員：クリスマス会や世界の絵本を楽しもうが100人越えですが、こういう人数は貸出冊数との関連はあるのかないのか？

事務局：参加された方は帰りに借りていかれることがありますので、世界の絵本の後に、外国の本を借りていかれる方が目立ったかなという感触はあります。

委員長：おとなの関係ではあまり顕著ではないですか？

事務局：映画会では大人がかなり入りますが、多くは映画会だけが目的のようです。

委員：映画会は本と直接関係ないかもしれないが、本の貸し出しに影響するような運営や本を借りてみようかなと思うような催し物を考えてはどうか。

委員：秋に文学講座が行われており、ここ数年参加しているが、お話を聞いたあとは本を読んでみようかなという気になります。このような講座が多くあると大人の本に対する興味が増すのではないかな。

委員：団塊の世代を取り込む方策が考えられないかな。

委員長：若者を取り込むのも大きな課題である。

委員：施設見学が少ないので、全校来ていただくようPRをお願いしたい。

委員：三崎小は近いので来てもらうようお願いしたい。唐竹小は読み聞かせボランティアに大型紙芝居をやってもらったり、6年生が低学年に読み聞かせをしたりしている。このようなことを老人クラブでやったらどうか。

事務局：時々やっています。

委員：老人クラブ以外にも地域に民生委員が入ってやっているサロンがあり、読み聞かせをやっている。そういうのもPRしてほしい。

委員：貸出期間の2週間を延ばす予定はないですか？

事務局：延長はできないが、予約が入っていなければ、返却後に再度借りられます。

委員：いつもそうしているが、なかなか来られなくて、延長できないかと。

事務局：それだけをお願いしたい。

議題（2）平成27年度事業計画について（資料2）

委員：館報に行事は載っているが、本の紹介がないので、今ひとつ、本を借りようかなと心が動かない。毎月のキーワードで本の紹介があれば良いと思う。また、行事に参加した際に、関連本の紹介をしてもらったら、帰りに借りてみようかなと思うのではないかな？

委員：“私のイチ押しの本”をするにも記憶が曖昧になるので記録が必要だと思います。子供たちに読書をする楽しみを知ってもらうためにも読書ノートをぜひ配布して欲しい。記録することで、読書の習慣が身につくのでは？タイトル、作者、コメントが書けるようなノートを限定冊数でも良いので配布するのは難しいでしょうか？

委員：今の提案は各小学校の図書室でやられていることが多いのではないかなと思います。児童に対しては図書館ではなく学校での対応でよいのでは？読書ノートは私も自分で作っていた。各小学校で何冊読んだらしおりなどの景品をプレゼントするなど、各小学校の司書さんが工夫してくれている。

委員：各学校で取り組みが違うので学校差がある。図書館で検討して欲しい。予算がなければ、施設見学に来た子とかに読書ノートの活用を勧めて欲しい。

委員：小学校の司書さんもいろいろ工夫してみえるので、やっぱり学校にお任せした方がいいように思います。